

新年のご挨拶

加賀農業協同組合

代表理事組合長

中村 眞



謹んで新年をお祝い申し上げます。

新春を迎え、組合員の皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、JA加賀の事業に格別のご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

令和6年は様々な行事が数年ぶりに再開され、年金旅行やふれあい体験農業、その他の行事やイベントの開催も徐々に増え、組合員・利用者の皆様と直接ふれあう事ができました。これもひとえに皆様方の多大なるご協力の賜物でありますことと、厚く御礼申し上げます。

令和6年における管内の農業生産や販売状況を振り返りますと、「水稲」では、昨年に引き続き登熟期に高温傾向となり、未熟粒や乳白粒の発生が心配されましたが、生産者の皆様の水管理の徹底と適期取りの励行により、2年ぶりに1等米比率を大きく引き上げることができました。園芸作物では、

「春ブロッコリー」が出荷量・販売額ともに前年を上回り、「かぼちゃ」についても、春ブロッコリーと同様の結果となりました。「梨」については一部の地域で霰・雹被害・害虫被害等を受けましたが、2産地全体では出荷量・販売額ともに、前年を上回ることができました。また、両産地とも「地域おこし協力隊」の受入れを行い、担い手確保・産地維持に向けての取り組みを行いました。「ルビローマン」は、前年の出荷房数を下回る結果となりましたが、初競りの最高値は6年連続加賀市産となりました。これら安全で良品質で、美味しい農産物を市内外の消費者に提供できましたことは、ひとえに生産者の皆様における努力の賜物と心から敬意を表しますとともに、心より厚く御礼申し上げます。

また、能登半島地震などの災害、天候不順の影響や更なる物価高騰など、農業を取り巻く状況は変化しており、JA経営においても、金利政策変更による資金調達・運

用環境の変化や高齢化・人口減少等による厳しい情勢下、JA加賀は加賀市の農業振興と地域の活性化に必要とされる協同組合であり続けるために、昨年初加賀市と締結した「包括連携協定」をはじめ、県や関係団体との連携も深めながら、新たな発想でコストの削減と効率的な事業体制の見直しを図り、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化にむけ、信頼される組織づくりに努めていく所存であります。

結びに、組合員をはじめ地域の皆様には、JA事業に対する一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げますとともに、皆様方の更なるご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願ひ致します

代表理事	中村 眞
代表理事	道田 肇
代表理事	高辻 利光
代表理事	新保 嘉康
代表理事	桶谷 誠
代表理事	荻原 明
代表理事	藤野 幸三
代表理事	新家 勝次
代表理事	阿慈知 昌子
代表理事	村井 敦子
代表理事	奥村 哲也
代表理事	久田 登喜夫
代表理事	西出 一郎
代表理事	下出 幸緒
代表理事	寺井 清春
代表理事	津川 与史寿
代表理事	山岸 順一
代表理事	小坂 隆男
代表理事	山崎 誠
代表理事	久保出喜太郎
代表理事	石川 克彦
代表理事	職員一同